

「第9回 尾道映画祭2026」
2026年2月27日(金)～3月1日(日)開催決定！

オープニング作品『リライト』
松居大悟監督 池田エライザさん 阿達慶さん登壇

センターピース作品『夏の砂の上』
玉田真也監督 オダギリジョーさん登壇

クロージング作品 大林宣彦監督作品『異人たちとの夏』
ちぐみ
秋吉久美子さん、大林千茱萸さん登壇

第9回
尾道
映画祭
2026



『リライト』 配給：バンダイナムコフィルムワークス ©2025『リライト』製作委員会



池田エライザ



阿達慶



オダギリジョー



秋吉久美子

尾道の町並みがスクリーンに甦る——。

2025年、全国公開された映画『リライト』は、オール尾道ロケを敢行し、瀬戸内の風が吹き抜ける港町の空気と、時を超える物語を美しく映し出しました。

そして2026年——尾道を舞台にした作品として『リライト』をあらためて迎え、町の風景と共にその魅力を伝えたいと思います。

第9回尾道映画祭2026。

映画と地域文化が響き合うこの町全体を舞台に、作品と人、過去と現在がつながる3日間を迎えます。

■ オープニング作品：『リライト』

尾道を舞台に描かれた青春と時間をめぐる物語。

海、坂道、渡船、放課後の光。誰もが心のどこかに忘れたくない「景色」や「感情」を映し出す作品として、多くの人の共感を呼びました。

松居大悟監督、主演の池田エライザさん、阿達慶さんを迎え、作品制作の背景や「尾道で撮る」という意味などを語る特別トークセッションを予定しています。

■ センターピース作品：『夏の砂の上』

『夏の砂の上』は、失われたものと再び出会うための静かな物語。

玉田真也監督、主演で共同プロデューサーも務めたオダギリジョーさんを迎え、制作背景や役作りについて語る特別トークセッションを行います。

■ クロージング作品：『異人たちとの夏』

大林宣彦監督が残した名作のひとつ。

優しさと哀しさが溶け合う物語は、時間や距離、記憶を超えて、観る者の心に静かに寄り添います。

上映後には、秋吉久美子さん、大林千茱萸さん、映画評論家・映画監督の樋口尚文さんを迎え、作品に込められた想いと、大林映画が紡いできた歴史を語ります。

尾道映画祭は、映画館だけで行われるものではありません。

しまなみ交流館、シネマ尾道、商店街の路地、海沿いの風景。町そのものがスクリーンとなり、映画を“観るだけ”ではなく、“歩きながら感じる”体験として広がっていきます。

映画と町、そして訪れる人が交差する。それこそが、尾道映画祭が目指してきた形です。

映画は、記憶と風景をつなぐ。尾道は、映画と深く呼応してきた町です。

撮影地として、物語の舞台として、そしてスクリーンを通じて誰かの人生と重なり合う町として。

第9回尾道映画祭は、新しい作品と時を経た名作、そしてそこに集う人たちの記憶が重なり合う場所となります。

2026年の冬、海と坂の町・尾道へ。
映画の余韻と、忘れられない景色に出会いに来てください。

- ◆ イベント名： 第9回 尾道映画祭2026
- ◆ 日 程： 2026年2月27日(金)・28日(土)・3月1日(日)
- ◆ 会 場： しまなみ交流館 〒722-0036 尾道市東御所町10-1
シネマ尾道 〒722-0036 尾道市東御所町6-2 ほか 尾道市内各所



- ◆ 公式サイト 公式ホームページ <https://o-ff.org/2026/>



onomichifilmfestival



onomichifilmfestival



onomichifilmfes

- ◆ チケット： 1月下旬前売り券販売開始予定。 1月中旬公開予定の第二弾リリースにて発表いたします。
- ◆ 主催 NPO法人プラットフォーム・おのみち 〒722-0051 尾道市東尾道14番地3
尾道映画祭実行委員会 〒722-0046 広島県尾道市長江1丁目2-2 有限会社こもん
後援 尾道市、尾道商工会議所、因島商工会議所、尾道しまなみ商工会 他（予定）
- ◆ お問い合わせ メール：info@o-ff.org
電話：070-2829-4248
9:00～18:00（映画祭期間中を除く）2026年3月1日（日）まで

本リリースは第一報となります。

その他上映作品、関連企画、イベント内容等については、1月中旬公開予定の第二弾リリースにて発表いたします。